

今号の
トピックス

特別支援学校での「メディアコントロール育成」の授業

本紙ではじめて、特別支援学校・高等部でのメディアコントロール能力育成の授業について取り上げます。授業者は本年1月に開発委員に着任した、青森県立森田養護学校教諭の宮原貴子さんです。2ページ立ての編成ですが、文部科学省の資料については、「燈火」ダウンロード版で見られます。(編集部)

本実践は冬休み前(12月)に実施した、スマホ・ネットの長時間利用をテーマにした授業です。対象生徒は、知的障害のある高等部1年生の生徒10名。8名が自分専用のスマートフォンを所持しています。

夏休みに保健室から配布された生活アンケートでは、夏休み中の一日あたりのメディア利用時間は、学級平均5.6時間でした。日々の会話でも「家に帰ったら何をするの?」と尋ねると、「動画を見る」「ゲームをする」「テレビを見る」など、ほぼ全員がスクリーンタイムを答えていました。

就労を間近に控えている高等部の生徒たちにとって、日常生活を管理し健康を維持することは、働くために身に付けるべき基礎的な力です。そこで、使いすぎていると感じたら使用を控えるなど、メディアとの接触を自己コントロールする態度(メディアコントロール力)を身に付けてほしいと考え、授業を実施しました。(宮原貴子)

<授業の構成> 題材名「冬休みの生活について考えよう」

対象生徒は、事前に健康被害(目、脳、睡眠)と依存問題に関する基礎知識を学習していました。事前授業では「やば～い!」「スマホダメじゃん!」など大きな反応がありました。しかしまだ、「自分は大丈夫。」と思っている様子でした。

①自分たちの利用状況を自覚する

「休日のスクリーンタイムは何時間ですか?」というアンケートを実施。⇒半数が5時間以上という結果でした。

②問題提起(自分も長時間利用に該当することを知って冬休みの過ごし方に対する意識を高め、友達と共有する)

「何時間以上だと、健康被害が起きるのかな?」と問題提起をし、「脳科学者の先生によると、スマホもテレビも全部合わせて1時間までです【1】」という情報を提示。

⇒「ショック!短すぎ!無理…」と反応は様々でした。

③スクリーンタイムを減らす方法を考える・調べる。

スクリーンタイムを減らすためのアイデアについて調べたり、考えたりする活動をしました。障害特性からインターネットで調べることが難しい生徒には、書籍を要約した補助資料を用意しました。「スマホの待ち受け画面を、ヘビなどの嫌いな画像にする【2】」といった面白い方法も入れました。)出された意見は、付箋紙に記入してKJ法でまとめました。

④「ネット以外の時間の使い方」という視点に気付く手だて

途中で「先生が調べたらこんなのがあったよ!」と、インドネシアの「ひよこを配ってスマホ依存をなくす」という取り組み【3】を紹介。

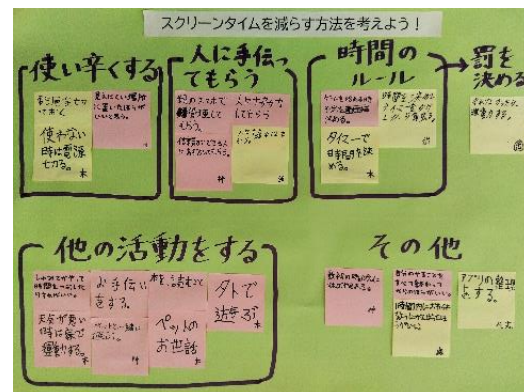
⇒「ひよこの世話の前頭葉が働くということ?」「役に立つことをすればいい。」といった意見が出ました。

⑤自分なりの方法と目標をまとめ、発表する

生徒たちは、自分なりの「減らす方法」を見つけ、冬休みの目標としてプリントに記入しました。



授業の様子



生徒と一緒にKJ法でまとめた方法

冬休み明けの生徒たちの感想が楽しみです。「減らせたよ!」「たくさん動画見ちゃった…」「〇〇したら楽しかった。」などなど、どんな感想も、次の学びの種になります。「探究」ですので、またみんなで考えていきたいと思っています。

【1】川島隆太 2022「オンライン脳」アスコム

【2】忍足みかん 2022「スマホの奴隷をやめたくて」文芸社文庫

【3】吉川徹 2021「ゲーム・ネットの世界から離れられない子どもたち」合同出版

〔資料として、「高等学校学習指導要領」との関係について、また、参考プリントを2ページに掲示しています。〕

学習指導要領との関連について

高等学校学習指導要領で示されている総合的な学習の時間の目標は以下の通りです。

第1 目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

また、自己の在り方生き方を考えることについて、学習指導要領解説では、次の三つを自覚しながら探究に取り組むことであると記載されています。

- ・人や社会、自然との関わりにおいて、自らの生活や行動について考えて、社会や自然の一員として、人間として何をすべきか、どのようにすべきかなどを考えること。
- ・自分にとっての学ぶことの意味や価値を考えること。取り組んだ学習活動を通して、自分の考えや意見を深めることであり、また、学習の有用感を味わうなどして学ぶことの意味を自覚すること。
- ・これら二つを生かしながら、学んだことを現在及び将来の自己の在り方生き方につなげて考えること。

2つの発問に答える + 友達の意見を聞く

自分の在り方を考えてほしい。



今回の授業では、①長時間利用が及ぼす健康被害に関する知識（学んだこと）、②自分のメディア利用状況（現在の自分）③卒業後の自立した自分の姿（将来の自分）について考え、今後自分はどうするべきか、思考を巡らせてほしいと考えました。

冬休みを健康にすごそう！ 氏名 _____

1日のスケジュール

| | | |
|----|-------|--|
| 朝 | 5:00 | |
| | 6:00 | |
| | 7:00 | |
| | 8:00 | |
| | 9:00 | |
| | 10:00 | |
| | 11:00 | |
| 昼 | 12:00 | |
| | 1:00 | |
| | 2:00 | |
| | 3:00 | |
| 夕方 | 4:00 | |
| | 5:00 | |
| 夜 | 6:00 | |
| | 7:00 | |
| | 8:00 | |
| | 9:00 | |
| | 10:00 | |
| | 11:00 | |
| 夜中 | 12:00 | |
| | 1:00 | |
| | 2:00 | |
| | 3:00 | |
| | 4:00 | |

スクリーンタイムを減らすための工夫

1日の目標 ()時間以内

感想(頑張ったこと、大変だったこと、感じたことなど)

お家の方から

授業のまとめとして生徒が記入するプリント